

申請受付日	
指導部で記入 →	/
【様式 3-1】	
(所属(市費)コード <u>671495</u>)	

大阪市立北巽小学校 平成 28 年度 校長経営戦略予算【加算配布】配布申請書

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>① 大阪市小学校学力経年調査の結果を児童の実態把握と指導改善に生かす。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 学校アンケートで、「お子様は授業の内容が分かるようになっている」と回答する保護者の割合を全学年で 70% 以上にする。 (マネジメント改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【習熟度別少人数授業の実施】</p> <p>国語科・算数科における T・T・少人数指導・習熟度別指導に応じた分割、指導形態を工夫した授業を実施する。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ子どもの育成を図る指導法を工夫する。 (授業実践記録、アンケート、単元ごとのまとめや小学校学力経年調査等) 子どもの思いや考えが分かるノート指導を工夫する。 	
<p>取組内容②【自学自習習慣の確立】</p> <p>全学年で家庭学習教材を提供する。また、高学年においては自主学習ノートの設定を行い、活用を図る。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年の毎日の家庭学習教材の提出率を 80% 以上にする。(アンケート調査) 高学年の自主学習ノートの提出率を 70% 以上にする。 	
<p>取組内容③【大阪らしさを活かした取組】</p> <p>大阪の施設を見学したり体験的活動をしたりして、郷土大阪のよさを知る。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書や副読本で学習する内容や施設について、見学や体験的活動を通して学習理解をより深める。 	
<p>取組内容④【授業研究を伴う校内研修の充実】</p> <p>全学年で定期的に授業研究を実施し、指導力の向上に取り組む。</p> <p>年間研修計画を作成したり外部講師を招聘したりして、校内研修の活性化を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間 20 回以上実施する。 	

27年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

①国語科・算数科を中心に、学習サポーター等を活用したり、単元によって習熟度別、あるいは

均等分割による少人数授業を行い、個に応じた支援を取り組んできた。ノート指導や発言等、

児童一人ひとりの理解度やつまづきに気づいて指導することができた。保護者アンケートの、児童の学習理解度は前期 90%、後期 90%。

(しんだん通過率 8割)

1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語：72%(46/64)	43%(22/51)	44%(32/73)	21%(11/53)	16%(9/56)	34%(24/71)
算数：75%(48/64)	47%(24/51)	40%(29/73)	34%(18/53)	14%(8/56)	23%(16/71)

②読み、書き、計算の課題を中心に、毎日家庭学習を提供した。提出率は 90%以上。自主学習は

中学年、高学年が内容を工夫して意欲的に取り組んできた。提出率は 70%～80%。

③遠足や社会見学で大阪の施設を見学したり体験的活動を行ったりしてきた。なにわ伝統野菜を

育ててみんなで調理して食べる活動を行った。

④全職員で授業研究を実施し、指導力の向上に努めた。(20回以上実施)

また外部講師を招へいしたり、指導案検討会や研究討議会、校内自主研修等も行った。

28年度への改善点

①今年度の成果と課題を分析した上で、次年度も実態に応じた指導形態の検討・実施を行う。
(個に応じた指導内容や指導方法の工夫・国語での指導形態・ノート指導 等)

②引き続き、個別の声掛けや家庭との連携を行う。自主学習ノートについての定義(指導方法・
提出の方法・内容)の検討。

③引き続き計画に沿って実施する。遠足や社会見学の行き先や内容について検討していく。

④今後も年間研修計画に沿って指導力の向上に努め、学んだことを実践していく。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度（今後）への改善点

◆加配配布申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

【様式 3 - 2】

大阪市立北巽小学校 平成 28 年度 校長経営戦略予算 【加配配付】配付申請書

配付申請額 1,540,946 円

◆費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
	609,986					

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
			930,960		1,540,946

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【習熟度別少人数授業の実施】

国語科・算数科における T・T、習熟度に応じた分割、指導形態を工夫した授業を実施する。
(カリキュラム改革関連)

取組内容②【自学自習習慣の確立】

全学年で家庭学習教材を提供する。また、高学年においては自主学習ノートの設定を行い、活用する。
(カリキュラム改革関連)

取組内容③【大阪らしさを活かした取組】
(カリキュラム改革関連)

大阪の施設を見学したり体験的活動をしたりして、郷土大阪のよさを知る。

取組内容④【授業研究を伴う校内研修の充実】

全学年で定期的に授業研究を実施し、指導力の向上に取り組む。

年間研修計画を作成したり外部講師を招聘したりして、校内研修の活性化を図る。

(マネジメント改革関連)

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
11-1	図書室用大型絵本用書架 @ 35,000×1	37,800
18-2	図書室用書架 (片面傾斜 2 連 5 段 @238,000×3)	771,120
18-2	図書室用書架 (片面傾斜 1 連 5 段 @148,000×1)	159,840
11-1	平太鼓セット @40,000×5	216,000
11-1	カルピタ国語黒板 @22,000×2	47,520
11-1	マグネットシート英語ローマ字用四線黒板 @21,100×1	22,788
11-1	1cm 立方体セット @25,500×4	102,000
11-1	例解小学漢字辞典 @2,100×40	90,720

取組内容①【習熟度別少人数授業の実施】

国語科・算数科におけるT・T、習熟度に応じた分割、指導形態を工夫した授業を実施する。
(カリキュラム改革関連)

取組内容②【自学自習習慣の確立】

全学年で家庭学習教材を提供する。また、高学年においては自主学習ノートの設定を行い、活用する。
(カリキュラム改革関連)

取組内容③【大阪らしさを活かした取組】

(カリキュラム改革関連)

大阪の施設を見学したり体験的活動をしたりして、郷土大阪のよさを知る。

取組内容④【授業研究を伴う校内研修の充実】

全学年で定期的に授業研究を実施し、指導力の向上に取り組む。

年間研修計画を作成したり外部講師を招聘したりして、校内研修の活性化を図る。

(マネジメント改革関連)

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
11-1	改定版 上級算数習熟プリント 全学年 @ 1,543×6	9,258
11-1	まるごと読解力 文学作品 全学年 @ 2,872×6	17,232
11-1	まるごと読解力 説明文・詩 全学年 @ 2,570×6	15,420
11-1	まるごと社会科 3/4年上下 5/6年 @ 3,002×6	18,012
11-1	まるごと理科 3年～6年 @ 3,456×6	20,736
11-1	教師力アップDVD @ 2,500×5	12,500

【様式 3 - 3】

大阪市立北巽小学校 平成 28 年度 校長経営戦略予算 【加算配付】配付申請書 (補足説明資料)

本年度の【**視点 学力の向上**】においては、研究授業や研修を通して、国語科を中心に子どもたちが自分の考えや意見をしっかりと書き、それをもとに発表・意見交流することができるようすることを大きなねらいとしている。

図書室環境に改善し、読書の習慣をつけ、 子どもの語彙力を高める！

子どもが自分の考えや意見をノートに書くことはもちろん、小グループや学級全体に発表・意見交流をするためには、子どもの思考力や想像力を高める環境整備が必要である。また児童が互いの意見交流をするには、語彙力を高めることも大切なことである。

そのため、昨年度までに図書室環境整備や蔵書を増やすなどに取り組んできた。本年度の校長経営戦略支援予算の基本配付では調べ学習用図書の充実を予算計上、大阪読書推進会の「読書ノート」を全児童配布、本に親しむ環境整備に取り組んでいる。また、数年来の学校図書館ボランティアとの協働の努力により、蔵書の P C 管理や本の補修など蔵書の維持管理の取組も進んでいる。

しかし、校費や校長経営戦略予算で追加購入した蔵書のうち、大型本や大型絵本が古い書架には分類ごとに整理できなく子どもには利用しにくい課題がある（学校ボランティアからの意見）。

そこで、図書室内南側の壁に可動式棚の書架を設置し、大型本や大型絵本を分類整理し、児童に利用しやすい図書室環境に改善したいと計画している。

- ① 読書ノート（応募・配布済み）を活用し、子どもの読書量の目標を示す。
- ② 学級文庫用図書を充実することで、教室での本に親しむ機会を増やす。
- ③ 可動式棚の書架を設置して、児童が利用しやすい環境づくりと図書ボランティアの方々の意見を取り入れ活躍できる図書室に改善するなど、読書環境の改善に活用する。



図書室入口から南面方向の写真



現書架の下二段に大型本が入らない現状

指導者が指導の基礎・基本や 最新の指導方法を身につける研究・研修を！

本年度は、国語科を中心に研究を進めていく。また、それ以前の5年間、算数科の研究を行っていた。数年の間に教職員も大幅に入れ替わり、若い指導者も増えており、発問や板書、ノート指導などの基礎・基本の指導力を身につける必要がある。昨年度からは書画カメラやプロジェクターが使用できる教具を学年に整備し、ICTを活用した最新の指導に取り組み始めている。

申請した教具や漢字辞典等の購入により、授業中の言語活動や外国語活動、運動会や学習発表会など表現活動の場面で、児童が意欲的に活動できる学習環境の整備を行いたい。